

感染症と中国研究

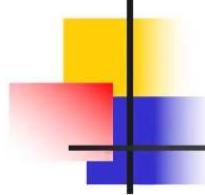
1. 問題の所在
2. 20世紀中国史の文脈—「東亞病夫」から「健康中国」へ
3. 「中国模式」はあるか？
4. 「感染症外交」とアフリカへの医療協力

飯島 渉 青山学院大学

長崎大学熱帯医学研究所客員教授・獨協医科大学特任教授

目黒寄生虫館理事

「感染症アーカイブズ」代表



問題の所在

2019年末から現在のCOVID-19のパンデミック

感染の起点（Disease Pool）としての中国、感染拡大と抑制

中国全土での対策の実施と抑制（武漢と湖北省に封じ込める戦略）

都市封鎖（1月末から4月はじめ）、悉皆的な感染検査と隔離

「感染症外交」

1) 対策の方法・人材・資材などのパッケージ輸出

2) 治療薬やワクチンの開発

3) 中国医学の対策への参加

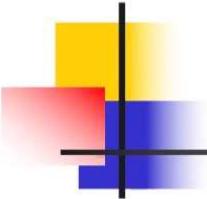
韓国・日本、ヨーロッパ（伊、西、仏、英ほか）、中東などでの感染拡大と抑制、再燃

米国、南米諸国、インド、南アフリカなどでの感染拡大、「米国の失敗」

現在は、「二回表、コロナの攻撃中」か？

「中国模式（方案）」はあるか、あるとすればその内容は何か？

「**都市封鎖とそれを支えるコミュニティ（社区）・システム、封鎖を可能にする人的物的な資源動員と集中のシステム**」と情報技術の融合、それを支える経済力



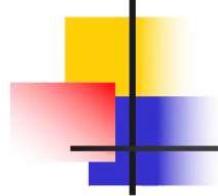
20世紀中国史の文脈—「東亞病夫」から「健康中国」へ

- 1) 20世紀前半：感染症の慢性的流行：ペスト、コレラ、天然痘、結核など
衛生の制度化の遅れ、「東亞病夫」
- 2) 20世紀後半：社会主義化、延安根拠地の制度を拡大した大衆動員型の医療衛生行政
中国医学の役割の強調（中西医結合）
皆保険の実現（人民公社と国営企業）
- 3) 20世紀末：改革開放、医療衛生の市場経済化
皆保険の破綻（「看病難、看病貴」）
- 4) 21世紀初期：SARS（2002～03）の流行と医療衛生改革（「医改」）
医療衛生制度の充実、それを支える経済成長、「健康中国2030」
感染症（急性感染症、風土病）の制圧と医療保険制度の整備
疾病構造の変化と医療の高度化：社会の「医療化」（医療コストの削減という課題）

『高まる生活リスク—社会保障と医療』（澤田ゆかりと共に著）岩波書店、2010

「「疫病史観」による中国の一〇〇年と新型肺炎」『中央公論』2020年6月号

「中国医学の可能性—新型コロナウイルス感染症へのオルタナティブ」『みんぱく』
(国立民族学博物館) 2020年8月号



「中国模式（方式）」はあるか？

治療薬やワクチンがなく、ウイルスとの接触の機会を減らし（いわゆる三密の回避）、感染者の隔離を行うという古典的な公衆衛生対策しか方法がなかった。

武漢市の大規模な都市封鎖—公衆衛生の歴史の中で画期的

四つの集中：「集中患者、集中専家、集中資源、集中救治」

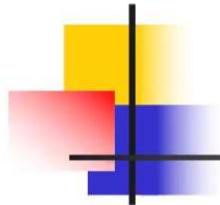
武漢市と湖北省に感染を封じ込め、医療資源を集中し、抑制を図る

大陸国家としての地政学的な有利さ

「都市封鎖とそれを支えるコミュニティ（社区）・システム、封鎖を可能にする人的物的な資源の動員と集中のシステム」と情報技術の融合、それを支える経済力

國務院新聞弁公室『抗擊新冠肺炎疫情的中国行動』（2020年6月）

飯島涉（2020）「中国・「抑制」から「感染症外交」へ—歴史的視座から読み解く」『外交』61号



国務院新聞弁公室『抗擊新冠肺炎疫情的中国行動』 (2020年6月)

中国政府の対策を網羅的に紹介し、「人類と感染症の闘い」であることを強調
対策を時系列的に整理

四つの集中「集中患者、集中專家、集中資源、集中救治」

武漢と湖北省に感染を封じ込め、医療資源を集中し、抑制を図る

346医療支援隊、4万2600人の医療関係者、900人の公衆衛生専門家の動員
人民解放軍の医療関係人員4000人を派遣、「火神山医院」等の運営

但し、医療関係者2000人の感染、10数名の犠牲

医療物資の安定的供給

中国医学の活用、外国滞在中の留学生に対して「健康包」を配布
「感染症外交」、特にアフリカ

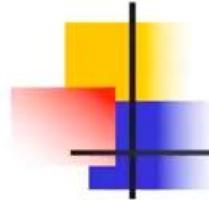
社区の役割、「愛國衛生運動」（但し、それほど強調されない）

「社区卫生服务中心」の活用

衛生防疫隔離の基本的単位、物資の供給など





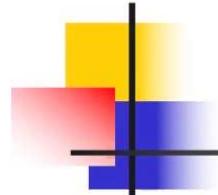


感染症対策における「中国模式（方式）」の行方

「社区防疫業務に関する通知」：絨毯式管理とITの利用
外出制限／域外からの入境者へのPCR検査、一時隔離／
住民の検温と管理／食料などの物資の安定的供給
「家暴」の増加への対応／老人や独居家庭への対応

社区の衛生服務中心でのPCR検査
外国人への同様の対応を求める

「健康コード」などによる管理
「健康档案」の蓄積とビッグデータとしての利用の可能性



湖北省新型冠状病毒感染肺炎疫情防控指挥部关于加强城市社区、小区封闭管理工作的通知

各市、州、直管市及神农架林区新冠肺炎疫情防控指挥部，各有关单位：

为坚决控制传播源头，遏制疫情扩散蔓延，保障人民群众生命安全和身体健康，现就加强全省城市社区、小区封闭管理有关工作通知如下：

一、加强组织领导

1.完善指挥体系。建立市、区(市、县)统筹、街道协调、**社区**(网格)牵头负责的指挥体系，加强联防联控、群防群控。各市、区(市、县)和街镇在下沉到社区干部中，要分别明确一名干部参与**社区**组织协调，在**社区**党组织统一领导下实施**社区**、小区、楼栋、门栋封闭管理工作。

2.整合工作力量。未上班在职机关党员干部到所在**社区**报到，充实**社区**工作力量。动员属地社会组织、专业社会工作机构、物业服务企业、业主委员会、志愿者等各方力量参与**社区**防控工作，特别是发挥**社区**党员、警员、医务人员“三员”的作用，带领各方面力量协同作战，参与**社区**防控。

- 2020-02-16 00:00 发文字号：鄂防指发[2020]52号



关于进一步加强农村地区新型冠状病毒感染肺炎疫情防控工作的通知

各市、州、县新型冠状病毒感染肺炎疫情防控指挥部：

为进一步加强农村地区新型冠状病毒感染肺炎疫情防控工作，现将有关要求通知如下。

一、组建村（社区）防控工作队。各级党政机关、事业单位党员干部要下沉入驻村（社区），与村（社区）现有力量联合组成疫情防控工作队，做到村（社区）防控工作队全覆盖，具体负责所在村（社区）的防控工作。

来源：湖北省政府门户网站 发布日期：2020-02-05 00:00

[首页](#) [直播](#) [节目单](#) [频道大全](#) [栏目大全](#) [片库](#) [4K专区](#) [热榜](#) [看点](#) [主持人](#)[CCTV-4中文国际频道](#) | [国家记忆](#)

《国家记忆》 20200402 战“疫” 围歼血吸虫

来源：央视网 2020年04月02日 21:11

分享到：[微博](#) [微信](#) [QQ空间](#) [收藏](#) 手机观看[点赞](#) [收藏](#) [评论](#) [客户端看](#)[视频简介](#)[栏目介绍](#)**来源：** 央视网**更新时间：** 2020年04月02日 21:11**视频简介：** 本期节目主要内容：二十世纪中叶，血吸虫病曾给我国长江流域及其以南的十几个省区市的劳动人民带去深重的灾难，夺走了众多的生命，被称为“瘟神”。新中国成立后，共产党领导的人民政府调动千军万马，围歼血吸虫病，挽救了千千万万人的生命。（《国家记忆》 20200402 战“疫” 围歼血吸虫）

CCTV-4中文国际频道 国家记忆

《国家记忆》 20200402 战“疫” 围歼血吸虫

来源：央视网 2020年04月02日 21:11

往期 片段

2020-04-02 21:11:20
《国家记忆》 20200401
战“疫” 抗疟疾

2020-04-01 22:06:15
《国家记忆》 20200331
战“疫” 灭天花

2020-03-31 09:46:33
《国家记忆》 20200330
战“疫” 鼠疫斗士伍连德

2020-03-30 21:59:16
《国家记忆》 20191231
歌唱祖国 心中的歌

19:11 / 26:51

高清

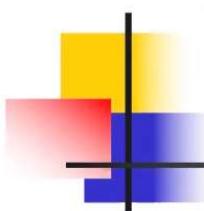
分享到:



手机观看

点赞 收藏 评论 客户端看





Oncomelania

A vector of SJ,
discovered by K. Miyairi in 1913
宮入慶之助



<http://www5.ocn.ne.jp/~miyairi/miyairi01-1.htm>



筑後川流域、かつての流行地



雲南のかつての流行地の様子



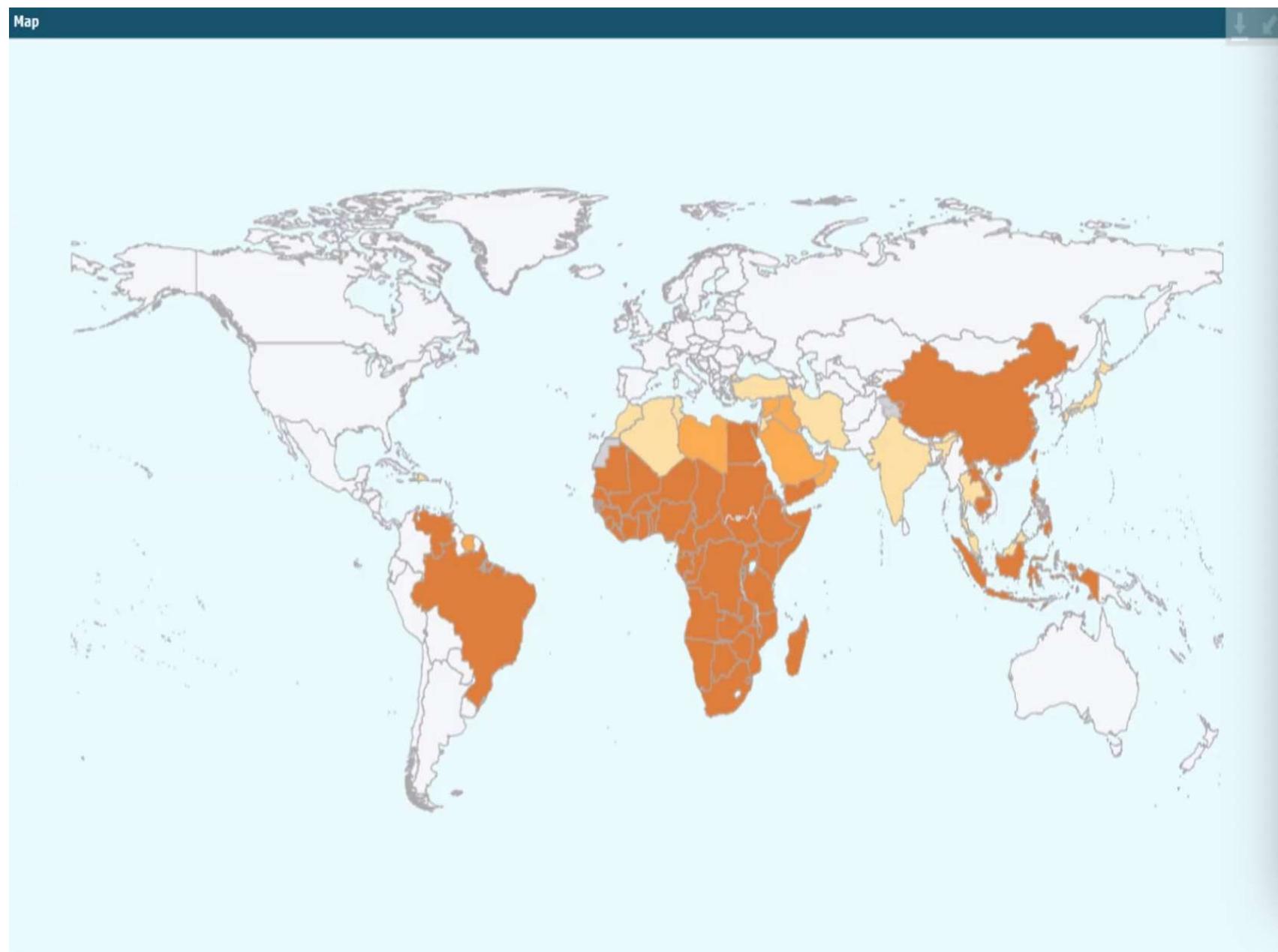
山梨、甲府盆地のかつての流行地

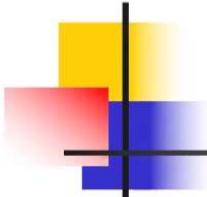


フィリピン、レイテ島のかつての流行地



溝渠建設前後 (昭和 31 年 11 月～32 年 5 月 白根町今諏訪)





感染症対策における「介入」とコミュニティの問題

「感染症外交」

「日本モデル」の成功と失敗（橋本イニシアティブ）

「中国模式（方式）」の行方

日本住血吸虫症の抑制をめぐる日本・中国・フィリピン

日本：環境改変、住民参加、公共事業

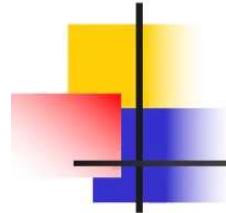
中国：土地改革（社会主義化）、人民公社と国営企業、大衆動員、プラジカンテルの導入

フィリピン：環境改変の失敗、バランガイ

プラジカンテルの導入

社区を基盤とする対策（介入）は短期的には大きな成功を収めているかに見える。公衆衛生的な文脈からすると、中国が選択した対策はある種模範的とも見える（個人情報の管理も含む）。但し、家族や個人への介入のあり方、IT技術を利用した健康情報の管理に関しては、これをどのように評価するかはまだ明らかではない。

日本住血吸虫症対策をめぐる中国のあり方、対策の現実への評価をめぐる歴史研究



感染症対策における「介入」とコミュニティの問題

日本住血吸虫症対策をめぐる中国のあり方、対策の現実への評価をめぐる歴史研究

飯島渉 (2006)

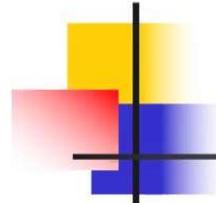
「宮入貝の物語—日本住血吸虫病と近代日本の植民地医学」田中耕司（編）『帝国「日本」の学知—実学としての科学技術』岩波講座第7巻

Farley, J. (1991), *Bilharzia, A History of Tropical Medicine*, Cambridge.

Gross, M. (2016), *Farewell to the God of the Plague*, Oakland.

対策とめぐる動員と自発性のはざま

日本・中国・フィリピンにおけるコミュニティのあり方と公衆衛生、感染症対策



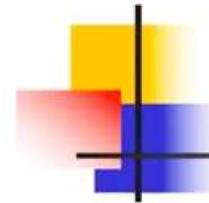
「感染症外交」：アフリカへの医療協力

Forum on China-Africa Cooperation (FOCAC)
Ministerial Forum of China-Africa Health Development

- 住血対策における中国模式
- マラリア対策（アルテミシニンのMDAなど）
- エボラ出血熱

- 「中西医結合」
- province to country model

橋本イニシアティブからTICAD(アフリカ開発会議)へ（日本の事例）
TICAD7（横浜、2019）



感染症と中国研究

3. 「中国模式」はあるか？

「都市封鎖とそれを支えるコミュニティ（社区）・システム、封鎖を可能にする目的的な資源動員と集中のシステム」と情報技術の融合、それを支える経済力

4. 「感染症外交」とアフリカへの医療協力

巨大な影響力（日本での紹介は少ない）

感染症制圧の経験にもとづく医療協力・開発援助

橋本イニシアティブ（日本モデル）の影

コミュニティへの介入のあり方をめぐる相克

MDAなどの論理